

体験学習

沖縄×SDGs

演劇で学ぶ平和学習～白梅学徒隊から託されたもの～



イメージ

沖縄戦時、白梅学徒隊として陸軍野戦病院に配置された中山きくさん、武村豊さんの証言をもとにつくられた、オリジナルの演劇を鑑賞していただきます。ご希望により、観演後、劇を演じた劇団員との意見交換会で振り返り学習も可能です。

| | |
|---------------|---|
| 期 間 | 通年可能（雨天でも実施可能） |
| 時 間 | 09:00～20:00（要相談） |
| 所要時間 | 1時間程 |
| 会 場 | 那覇市周辺ホテルなど ※実施2時間前から舞台でリハーサルができる会場をお願いしております |
| 人 数 | ご相談ください。 |
| 料 金 | 生徒200名以下 一式20万円 生徒200名以上 生徒1人につき1,000円 （消費税別途） |
| 備 考 | ・有料施設利用の場合は、費用ご負担・調整ください。 |
| お申込み 問い合わせ | NPO法人自然体験学校 TEL：098-998-0330 FAX：098-998-3808 http://www.shizentaiken.com |

■令和元年度宜野湾市平和祈念事業で実施

宜野湾市内にある4つの中学校で、平和学習の時間に『白梅学徒隊から託されたもの』を鑑賞していただきました。終了後に実施したアンケートから、生徒の感想をご紹介します。

えんげきで、防空ごうから出てきて大きな爆弾の音が聞こえた後に、お母さんが、てしまいう場面がとて印象に残りました。爆弾が落ちた時の音が大きすぎて、びっくりしました。当時の子ども達は、この大きな音を聞いて、人だよねと思うと、胸が苦しくなりました。

今回の平和学習でえんげきをされていて、私は、今から74年前に戦争が、あって戦争で、いろいろな人がなくなって、いったり合ったりに、じいさんが、あつたべれないし、友達もあつたり勉強したりも、まじいことして、あつた一番印象に残りました。

最後の、白梅学徒隊のげまが、すごく感動しました。特に、お母さんとお母さんが、けんかをして、いるシーンは、その当時の人が、本当にここに、いるような、2人の気持ち、が、すごく伝わってきました。劇中、何度も涙を流しました。本当に素晴らしい劇でした。

・劇に出てきたお母さんとお母さんの会話の場面が一番心に残った。
・あつたは、国のため、命をさげすむのが、ほんたうの、たつたと思つたが、いつの時代も、とんたつた、あつたでも、娘が命が危ない、所に行くのは、お母さん、は、やめなつたと思つて、胸をいためた。

～あらすじ～

白梅学徒隊として沖縄戦を生き抜いた和子のもとに、元日本兵から一通の手紙が届く。封印していた当時の出来事が、和子の心によみがえり、沖縄戦で亡くなった一番の親友「梅ちゃん」の生きた証を伝える決意を固める。

